

科目名	教育学研究 [院]					単位	2.0
担当教員	眞有 澄香						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1, 2	授業番号	8005

●授業のテーマ

「ことば」を開く教育学

●到達目標

人間形成においても、学校教育における各教科の基礎・基本としても重要な役割を担う「ことば」の問題を再確認することで、その技法や意義、課題に対する関心を持つ。その上で、「ことば」や教育が抱える諸問題を考究し、自らの考察に基づいた見解を述べることができる。

●学習内容(授業概要)

本講義では、我が国における学校教育の歴史を繙き、これからの教育学の方向性や検討課題について考察する。また、現在、教育学研究において重視されている身体論やジェンダー研究、潜在的カリキュラムなどの諸問題について討議・検討し、人間が人間として生きるために欠かせない「ことば」から「からだ」「こころ」へと問題意識を広げながら、これからの教育学について再考していく。

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. ガイダンス
2. 日本教育史（戦前期）について
3. 日本教育史（戦後）について
4. 「生きる力」と教育学
5. 「伝え合う力」とは何か
6. 「からだ」と「ことば」
7. 「ことば」と出会う
8. 「からだ」と出会う
9. 「こえ」と出会う
10. 「ことば」で思考すること
11. ジェンダー研究と教育学
12. 潜在的カリキュラムと学校教育
13. 「PISA型読解力」と学校教育
14. 新たな教育学の構築
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

授業には、テキストを精読して臨むこと。授業後は、自らの「ことば」で学習内容を整理・まとめておくこと。

●成績評価方法・基準

毎授業時の取組（20%）とレポート（80%）によって総合的に評価する。

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：ことばが劈かれるとき、著者名：竹内敏晴、出版社：ちくま文庫、販売先：生協

●参考文献／その他

野口三千三『原初生命体としての人間』（岩波現代文庫）

●履修上の注意

積極的な発言を求めるので、自分の見解を自分の「ことば」で述べること。

なお、開講日は、祝日開講日や集中講義期間に集中講義として実施するので、必ず掲示板で確認すること。